

## 東日本大震災後における主要浮魚類の水揚状況（短報）

早乙女忠弘・平田豊彦

### Landing of the Major Pelagic Fishes at the Port of Fukushima Prefecture after the Great East Japan Earthquake (Short Paper)

Tadahiro SOHTOME and Toyohiko HIRATA

2011 年 3 月 11 日に発生した東日本大震災に伴う原子力発電所事故により、福島県沿岸の魚介類は放射性物質に汚染され、アイナメやヒラメ、シロメバル等の沿岸域に分布する魚類を中心に食品の基準値を超える放射性セシウムが検出された。そのため、福島県の沿岸漁業および底びき網漁業は 2013 年 3 月現在も操業自粛が継続されている。一方、カツオやサンマ、イワシ類、サバ類などの沖合性浮魚類はいち早く安全性が確認され、これらを漁獲対象とする大中型まき網漁業（以下、まき網）およびさんま棒受網漁業（以下、棒受網）は操業を行っている。福島県の産地市場は大震災の津波被害を受けたものの、まき網および棒受網の主要産地市場であるいわき市地方卸売市場小名浜魚市場（以下、小名浜港）および中之作地方卸売市場（以下、中之作港）は、応急復旧工事により 2011 年から水揚げが可能となった。そこで、主要浮魚類 5 魚種（カツオ、マイワシ、カタクチイワシ、サバ類、サンマ）の震災後の水揚げについて、両産地市場の震災前 5 か年平均水揚げ状況を基準に経過を取りまとめた。

2008 年～2013 年の水揚統計は、小名浜港、中之作港の販売管理システムから出力した属地水揚統計データを福島県資源管理支援システムで集計し、産地市場別・漁業種類別・月別・魚種別の水揚量、水揚金額（税込）および平均単価（税込）を求めた。

震災後の水揚数量および金額（表 1）は、両港とも震災前 5 か年平均を下回り、小名浜港で震災前の 20～30%、中之作港で 0～2% となった。魚種別にみると、小名浜港ではカツオで 1～9%、マイワシで 7～48%、カタクチイワシで 0～27%、サバ類で 45～56%、サンマで 50～70%（いずれも水揚金額ベース）となり、サバ類およびサンマは持ち直しの傾向にあるが、震災前に大きな割合を占めたカツオの回復が低調であった。各魚種の資源状況をみると、カツオは高位・減少<sup>1)</sup>、マイワシは中位・増加傾向<sup>2)</sup>、カタクチイワシは中位・減少傾向<sup>2)</sup>、サバ類は中位・横ばい～増加傾向<sup>2)</sup>、サンマは中位・横ばい<sup>2)</sup>であり、マイワシおよびカタクチイワシの水揚げ状況の変動は、資源変動の影響が大きいと思われた。平均単価をみると、カツオは 2011 年および 2012 年前半まで震災前の最安値を下回る単価に落ち込んだが、2012 年後半～2013 年はほぼ震災前並みに回復した。マイワシは震災前の最安値を下回る水準で推移したが、前述のとおり資源変動に伴う水揚量変動の影響と思われた。他の 3 魚種は震災前並み～震災前より高めで推移しており、単価の面では大きな影響はみられなかった。まき網および棒受網の水揚隻数は、小名浜港ではまき網で震災前の 17～32%、棒受網で 26～65%、中之作港ではまき網で 0～5%、棒受網で 0～22% となった。特に、県外船の回船がほとんどであった中之作港のまき網で回復が低調であった。

表1 震災後の主要浮魚類における水揚げ状況.

水揚港	魚種\年	数量 (トン)				金額 (百万円)			
		2006-2010 平均	2011	2012	2013	2006-2010 平均	2011	2012	2013
小名浜港	カツオ	4,050	19 (0.5%)	241 (6.0%)	380 (9.4%)	1,053	3 (0.3%)	68 (6.5%)	93 (8.8%)
	マイワシ	575	675 (117.3%)	88 (15.3%)	207 (36.0%)	52	25 (47.9%)	3 (6.6%)	12 (22.8%)
	カタクチイワシ	1,030	239 (23.2%)	- (0%)	4 (0.4%)	33	9 (26.7%)	- (0%)	0 (0.8%)
	サバ類	2,278	1,039 (45.6%)	792 (34.8%)	665 (29.2%)	109	61 (56.1%)	49 (45.4%)	52 (47.9%)
	サンマ	6,007	2,292 (38.1%)	3,267 (54.4%)	2,018 (33.6%)	404	207 (51.3%)	203 (50.3%)	280 (69.4%)
	5魚種計	13,941	4,263 (30.6%)	4,388 (31.5%)	3,274 (23.5%)	1,650	305 (18.5%)	324 (19.6%)	437 (26.5%)
中之作港	カツオ	4,669	- (0%)	26 (0.6%)	68 (1.5%)	1,264	- (0%)	15 (1.2%)	21 (1.7%)
	マイワシ	-	- (-)	- (-)	- (-)	-	- (-)	- (-)	- (-)
	カタクチイワシ	-	- (-)	- (-)	- (-)	-	- (-)	- (-)	- (-)
	サバ類	41	- (0%)	- (0%)	- (0%)	2	- (0%)	- (0%)	- (0%)
	サンマ	661	- (0%)	51 (7.8%)	22 (3.3%)	46	- (0%)	4 (8.4%)	2 (5.0%)
	5魚種計	5,371	0 (0.0%)	78 (1.4%)	90 (1.7%)	1,312	0 (0.0%)	19 (1.4%)	23 (1.8%)

※表中の ( ) 書きは2006~2010年平均値に対する比

表2 震災後のまき網およびさんま棒受網の水揚げ隻数.

水揚港	漁業種類\年	2006-2010 平均	2011	2012	2013
小名浜	まき網	181	30 (16.6%)	36 (19.9%)	58 (32.0%)
	さんま棒受網	103	27 (26.2%)	67 (65.0%)	55 (53.4%)
中之作	まき網	111	0 (0.0%)	1 (0.9%)	6 (5.4%)
	さんま棒受網	9	0 (0.0%)	2 (22.2%)	1 (11.1%)

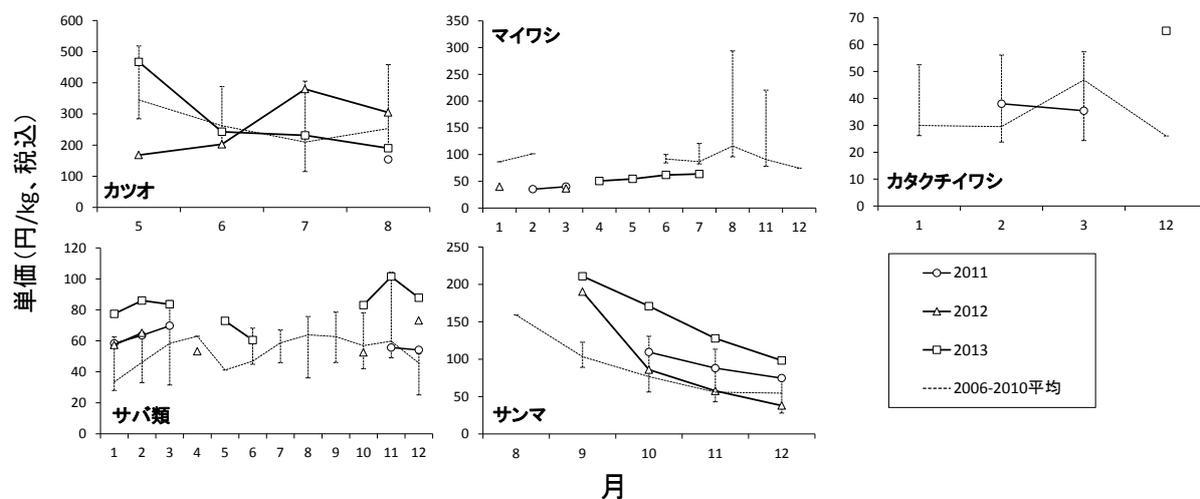


図1 小名浜港における主要浮魚類の月別平均単価の経年推移.  
エラーバーは震災前5か年の最大値および最小値を示す.

## 文 献

- 1) 水産庁・独立行政法人水産総合研究センター：平成 24 年度国際漁業資源評価の現況、カツオ中西部太平洋、[http://kokushi.job.affrc.go.jp/H24/H24\\_30.html](http://kokushi.job.affrc.go.jp/H24/H24_30.html) (2014.3.5 アクセス)
- 2) 水産庁増殖推進部・独立行政法人水産総合研究センター：平成 24 年度我が国周辺水域の漁業資源評価、第 1 分冊、p.1735 (2013)